



# 白子川な人

(その9)

白子川を絵筆で見つづける人

萩原 和雄さん (石神井台在住)

■この通信の表紙でおなじみの萩原さんが白子川との出会いをこう語る。「山梨の田舎で生まれ育ったんだけど、近くの笛吹川に流れ込む小川に、白子川が似ていて…。源流の木道や杭と、その水面に映る影はおもしろい景観です。絵の世界では“水”が描けたら一人前なんだそうですよ。台風一過のある日、増水した白子川をスケッチしてたら、声かけられました。“お手伝いして下さいよ、絵を描いて”現会長の菅沢さんでした。それからです、通信に絵を載せるようになったのは」 ■萩原



2012年4月 第35号

「白子川源流・水辺の会」の会報誌

- 練馬区総合治水計画について
- 白子川の放射能を5月から測ります！
- 身近な川の全国一斉調査
- 新会員紹介
- 定例活動報告

さんは少し悔しさをにじませながらこんなことも語って下さった。「小さい頃から絵を描くのが好きで、小学校高学年・中学校の時、校内の写生大会ではよく表彰されました。だから美大に進みたかったんだけど、お巡りさんだった父は許してくれませんでした。大学でこちらに出てきて、そして勤めて40歳頃に、地元の絵の会に所属し、本格的に描き始めたんです。その先生に、“君の絵は建物がいいから建物でいきなさい”と言われて、武蔵野の風景を描きに方々回りました。白子川もその実習のつもりで描いていたんですよ」 ■萩原さんの絵は、かぎりなく、やさしい。一本一本の線にもそのやさしさが滲み出てくる。建物の絵は、まるでその建物の“精”が、描く萩原さんの絵筆に乗り移ったようだ。萩原さんは、その絵が認められて、今年から東京都民美術展の役員をつとめることになった。

(ぶん/東谷 篤)



# 定例活動報告

12月、1月、2月、3月

ヒキガエルのゼラチン質に包まれた卵を、そーっと、水から引き上げてみる。(3月の定例)



## 源流域・水の測定データ

測定地点	日 天気 気温 項目	12/25	1/22	2/26	3/25
		°C	6.0	9.0	11.0
源流部	水温℃	12.4	7.8	-	17.7
	水深cm	7	1	0	20
	PH	5.7	6.4	-	5.4
井頭橋	水温℃	9.7	5.5	6.7	14.4
	水深cm	20	13	11	30
	PH	6.0	6.5	5.9	5.8

このほか、透視度、電気伝導度、COD、川幅、堰の流量などを測定している。

## □白子川源流域の様子

### ★冬から春にかけて …水量は？

12月までは、まだなんとか水がある状態だったが、1月に入ると、水涸れがどんどん進んできて、2月にはすっかり干上がってしまった。しかし、春先の降雨で、源流はたちまち豊かな水量を取り戻した。

### …春の生きもの、みつけた！

●動物 年間を通して見られる源流域の生きものたちの代表、ホトケドジョウ、アメリカザリガニ、ギンブナ、アブラハヤ、カルガモなどに交じって、春先になるとみられるのが、ヒキガエルの卵。そしてその卵からふ化したオタマジャクシ。暖かくなると、ココ、井頭の池と呼ばれた白子川源流部も、生きものたちの誕生ラッシュで、賑やかになってくる。

●植物 冬場の水涸れ期に、夏の勢いがウソのように立ち枯れてしまうウキヤガラ、カンガレイ、ガマなど。これら、背丈のある水生植物たちの刈り取り作業が大変。そして、刈り取った後の根っこを掘り起して整理し、夏場の勢力を少しでも抑制しておく作業も腰の折れる力仕事だ。

だが、春も弥生の頃になると、刈り取った残りの根っこから、「さあー春が来た、ワタシの出番よ」とばかりに、ウキヤガラの新芽が一斉に出てくるから、たくましいというか、植物の生命力はすごい！

## 活動記録

11/12/25	定例活動	3/24	新運営会議第1回
12/27	源流通信第34号発行	3/25	定例活動
12/1/21	新河岸川フォーラム展示	3/26	放射線量測定器 発注
1/22	定例活動	3/31	TOTO(株)助成金入金
2/4	地域活動団体大交流会	4/9	川活動用一輪車購入
2/25	運営会議	4/20	南小学校「白子川学習」打合せ
2/26	定例活動	4/21	新運営会議第2回
3/13	白子川整備最終打合せ (栗映橋)	4/22	定例活動

## 新会員紹介 ☆ 秦 康博

練馬区石神井台 8 丁目に住んでいます。最初に石神井町 7 丁目に移り住んでから 30 年を超えました。現在 68 歳です。生まれは福岡県久留米市です。18 歳で上京し、

電気会社に就職し、約 42 年後に定年退職し、6 年間の団体でのバイトを終えました。

1 年前頃に白子川での毎月の清掃活動のことを聞き、昨年暮れ頃から参加させていただいています。2012 年 3 月の運営会議で会員になることを認めていただきました。よろしくお願ひします。

### 地域みなさんに感謝 !!

昨年の白子川源流まつりで東北支援コーナー「焼きそば」と「白子川グッズ」の売上金 10 万円を NPO 団体「みやぎジョネット」へ送金しました。

支援金の使いみちは事務局の提案により、被災によって就職先を失った一人の高校生の介護資格取得講習料(月 1 万円)に充てることになりました。

ご報告が遅くなりましたが、みなさんのご厚意に心より感謝いたします。

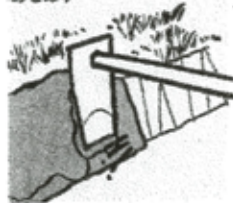


源流まつりでの  
焼きそばコーナー

◆みやぎジョネット(みやぎ女性復興支援ネットワーク)は、被災地女性と全国支援者の思いを結ぶことを目的に発足した NPO 団体で、会員の多くは被災女性です。

◎事務局 〒981-0911 仙台市青葉区台原 5 丁目 13-23 レジデンス台原 1F TEL・FAX 022-233-2434

あぜぬり



### 堰の「あぜ塗り」で水位上昇!

井頭堰は水もれが多い。川底のド口を使って水田の「あぜ塗り」をやってみたところ、塗った 1 週間後には水位が急上昇し、子どもたちの「堰こわしあそび」まで保たれました。冬涸れの時期に思わぬ「冬期湛水」となり、生物には好影響だったと思われます。(菅沢 博)



※冬期湛水(とうきたんすい)…稲刈りが終わった水田に冬期も水をはる農法で、冬期の水田の生物多様性を高め、水田の環境面での付加価値を生み出すなど、多くの効果があるとされている。

# 練馬区総合治水計画について

■ 片野令子

最近の気候変動は、ゲリラ的豪雨が局地的に降り、区内においても浸水被害が多く出ています。そこで、水害対策として、総合治水計画の見直しがされ、2月に4回の説明会がありました。4回の説明会の参加者数は10人とのこと。周知方法が悪いのか、区民の関心がないのか残念。

従来の水害対策は、時間50ミリの降水を石神井川や白子川の川幅を拡張することで対応してきました。しかし、石神井川は7割、白子川は2割弱の拡張でなかなか工事が進みません。都の予算も莫大にかかります。そこで今回は、雨水を地下に浸透させることで、それも、時間55ミリとし、うち5ミリの10年間確実に実現させる計画としたのです。

具体的に「表」のように、公共施設と民間施設の単位対策量を増やすこと。特に、民間施設は従来の1000㎡の開発を500㎡ごとに浸透装置を設置することにしています。

(但し、まちづくり条例の要綱では300㎡ごとに設置としています)

【現行】	施設	単位対策量(㎡/㎡)			【改定案】	施設	単位対策量(㎡/㎡)				
		白子川	石神井川	神田川			白子川	石神井川	神田川		
公共施設	建物・公園	300㎡以上	0.05	0.05	0.06	建物・公園	1ha以上	0.095	0.06		
	道路	車道	-				1ha未満	-			
		歩道	-			道路	車道	0.03			
民間施設	開発区域	1,000㎡以上	0.04			民間施設	開発区域	500㎡以上	0.06		
	500㎡~1,000㎡未満	0.02			その他			0.03			
	その他	-			民間施設	その他	0.03				

## 総合治水とは…

練馬区は近年の局地的集中豪雨に対処するため、平成2年に策定した「練馬区総合治水計画」を改訂し、平成24年より実施する。

民間におけるこのような変更をしても、浸透マスや雨水再利用は義務ではなく、あくまでも任意となっていますので、検査体制がきちんとしていなければ、穴だらけになってしまうのではないのでしょうか。

練馬区まちづくり条例が作られるときに、総合治水の「総合」とは何かを議論し、流域対策としての雨水浸透など年次計画を作ってまちづくりの中に位置づけるべきだと発言してきたのですが、やっと注視されてきたようです。

白子川源流ではいま、うるおいのある川面を保っていますが、本来の湧水のある川にもどしてあげたいです。

## 白子川の放射能を

5月から測ります！



福島原子力発電所からの放射能汚染は、遠く静岡のお茶にまでその被害が広がっていることが報告されました。この東京においても放射能濃度の高いスポットが各地域で測定されています。

昨年3月のメルトダウン、水素爆発の際に風に乗って拡がった放射能は、その時降った場所に止まらず、雨風とともにその後も移動していると言います。また、放射能は特に泥とくっつく性質があると言います。

広い範囲に降った雨水が集まる大きな川、例えば荒川や利根川の河口ではかなり高い濃度の放射能が測定されているということです。近郊の水が集ってくる、しかも川底に泥の多い、この白子川の汚染は、はたし

てどうなっているのでしょうか。私たちは心配していました。長く白子川の調べ学習に取り組んできた大泉南小の保護者からも、心配の声が聞かれていました。

この度ようやく、放射能を測る「線量計」を、会で買うことができました。（4月末入荷予定）

ですから、これからは毎月の定例川掃除の際に、他の計測と同じように、放射能の値も計測していきます。必要があれば、測定の回数を増やしていきます。みなさん、どうぞ注目ください。（東谷 篤）

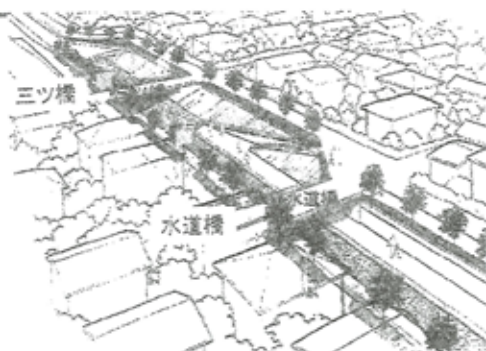
注) 放射線量測定器

『ガイガーFUKUSHIMA』は福島県の㈱三和製作所製で、福島県の中小企業が作り上げるオール福島製のガイガーカウンターです。

## “遠い川”から“近い川”へ

白子川源流から、2.5kmほど下った中流域(東映影所やLIVINの北にある白子川)の東映橋～水道橋～三ツ橋間に、以前より護岸工事が進んでいます。いよいよ、新たな親水護岸が来春に完成する予定です。白子川では源流部、和光市第五小学校付近に続いて3番目の「水辺に降りられる」場所となります。

これによって、フェンスで囲まれた“遠い川”が“近い川”となり、子どもたちや多くの区民の憩いの場となることを期待します。(菅沢 博)



## 6月3日は『身近な川の全国一斉調査』の日

### 白子川で一緒にやりませんか？

多くの市民や学校の子どもたちによる『身近な川の  
一斉調査』は、1980年代の半ばから多摩川・荒川  
の流域や霞ヶ浦など各地で始まり、現在では全国で  
一斉に行われるようになり、身近な環境に関する市  
民の理解と関心がさらに深まっています。

この調査により、河川や水辺の様子や水質などの  
現状が把握できます。当会でもいち早くこの取り組  
みに賛同し実施してきました。今年の一斉実施日は  
6月3日です。調査は簡単で楽しいものです。

～～ 地域のみなさんもぜひご参加ください。～～



【日 時】6月3日(日)9時～12時 ※9時に大泉井頭公園の井頭橋集合 雨天でも実施

【場 所】3班に別れて調査。①源流班 ②日の出橋班 ③中島橋班

【調 査】調べる項目…水質、水温、水流、水深、川幅、動植物、水辺の様子等

【服装等】川は深い所でヒザ上までありますので、汚れてもいい靴と服装でおでかけください。

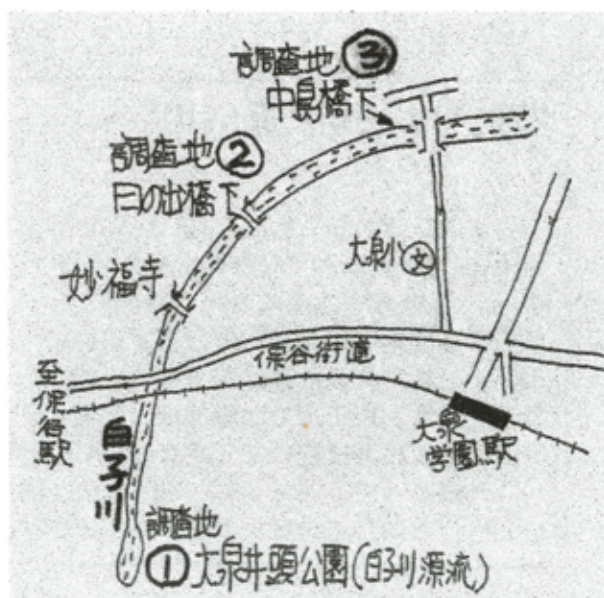
【申込先】当会事務局 tel・fax 03-3923-8430 すがさわ

### 第12回 定期総会のお知らせ

6月17日(日)午後1時～  
東大泉地域集会所

この1年を振り返り、新たに  
スタートする大切な会合です。  
ぜひ、ご出席ください。

(後日、詳細をご案内します)



## アユの豆知識



**名前** アユの標準和名は“アユ”で、広く使われています。しかし、当て字は多く、鮎のほかにも安由、香魚、年魚、王魚、細鱗魚、黄頰魚、国栖魚、溪鱈魚（谷川のイワシ）、銀口魚等があります。

**鮎にまつわる話** 古事記や風土記には鮎が多く出ています。鮎の字は、占いによく使われたことからきており、“神武天皇が東征の際、夢のお告げで土器と壺を作り川に沈めて占った神功皇后が、遠征の際、飯粒をエサにして「新羅に勝つことができるなら魚が釣れますように」と祈って川の中に投げ入れたところ、釣れた魚が鮎だった”などの話があります。

**落ちアユ、サビアユ** 産卵期に下流に下るアユを“落ちアユ”、繁殖期に婚姻色が出て黒くなったアユを“サビアユ”ともいいます。また、1年で一生を終えることから“年魚”とも呼ばれています。

(神奈川県水産技術センターHPより抜粋)

### 2012年 これからの 年間活動予定 (主なもの)

5/15(火) 南小4年キックオフ授業	8/25(土) 運営会議(19:00~21:00)
26(土) 運営会議(19:00~21:00)	26(日) 定例活動
27(日) 定例活動	
6/ 3(日) 全国川の一斉調査	9/ 1(土) 源流まつり第2回実行委員会
17(日) 第12回定期総会	22(土) 運営会議(19:00~21:00)
19(火) 南小4年白子川体験①	23(日) 定例活動
23(土) 運営会議(19:00~21:00)	10/14(日) 源流まつり最終実行委員会
24(日) 定例活動	28(日) 第12回源流まつり
26(火) 南小4年白子川体験②	11/24(土) 運営会議(19:00~21:00)
7/15(日) 源流まつり第1回実行委員会	25(日) 定例活動
21(土) 運営会議(19:00~21:00)	12/22(土) 運営会議(19:00~21:00)
22(日) 定例活動	23(日) 定例活動

☆運営会議は定例活動前日の夜、毎月おこないます

## イ/モトソウとヤブソテツ

井頭橋下流右岸等に、川面から30cm～1mぐらいの岩の隙間に生えているシダ植物。ノキシノブにも似ている。

茎の直径は3mmほど。東西南部から沖縄にかけて普通に見られる常緑のシダ。井戸の近くでよく見られたのでこの名がつく。ヤブソテツ（右奥）も普通に見られるものである。両方とも根は浅い。

(平凡社「日本の野生植物シダ」より)



### 親子でザリガニにふれるチャンス !!

白子川源流の水はほとんどが湧水なので、生きものがたくさん。ザリガニ・エビ・オタマジャクシ・アメンボやカワセミやサギも。

会では毎月の活動時に、〈親子の川あそび〉をサポートします。お気軽においでください(事前連絡不要です)。

\*汚れてもいい服装で。大人の方には長靴か「つなぎ」をお貸しします。

川あそびサポート日(当面) 5/27、6/24、7/22、8/26 《各日曜》  
14時ごろ～16時

◆魚にとって増水は「うれしい」のだろうか、定位置を離れて“座礁”してしまった鯉を、住民からの通報で助けることができた。川をよく見ている方々によって一つの命が救われた(4/16)。



#### 編集後記

▼西武線の近くの河川敷に生えた「ど根性ねむの木」が無い！どこからともなく飛んできたヤワな種が、川つぶちに置かれた植木鉢を乗っ取り、ぶち割って、根をアスファルトに突き刺した姿はもうない。夏の昼下がりが、私たちの川掃除を、優雅に涼やかに眺めた秘密の場所。川の風景は変わり続ける。(さ)

▼会員だれでも参加できる「運営会議」を、まるで飢えていたかのように毎月開くことになった。大きな狙いは、活動を知ること、共通の認識をもつこと。いざ始まるとセンパイ方の出席率がいい。みなさんの思いがしっかり聴ける。そんな場にもなりそうだ。(け)

※この会報は年3回発行しています。

発行 白子川源流・水辺の会  
編集 東谷 篤/東谷貞子/菅沢恵子  
題字 宮本沙海  
発行部数 1,200部  
代表 菅沢 博 03-3923-8430  
練馬区南大泉 1-10-5  
[suga-lohas@jcom.home.ne.jp](mailto:suga-lohas@jcom.home.ne.jp)

[http://www.geocities.jp/sirako\\_river/](http://www.geocities.jp/sirako_river/)